

新しいクオリティへ、新しいスピードで。

『リそな』

HUMAN COMMUNICATION

平成21年3月期 第2四半期 (平成20年9月中間期) 決算発表時説明資料

平成20年11月14日

 **リそなホールディングス**
RESONA

(単位:億円)

I. 平成20年9月中間期のハイライト

■ HD連結中間純利益は863億円を計上... Page1,2

⇒ 前年同期比△338億円(△28.1%)、予想比△637億円(△42.4%)の減益

- ・ 東京本社ビル売却益:1,044億円を計上 ⇒ 税効果剥落により、税金費用は前年同期比増加
純利益へのネット影響額:620億円程度
- ・ 与信費用が前年同期比+1,052億円、予想比(銀行合算)+1,045億円増加 ⇒ 利益減少により、税金費用は予想比減少

■ トップラインは前年同期水準を確保... Page1,2,3,4

⇒ HD連結粗利益:3,748億円 ⇔ 前年同期比△28億円(△0.7%)

- ① 預貸金利益:残高要因により減益乍ら、利回り差:1.9%は計画水準を維持
- ② 役務手数料:保険販売は増収乍ら、投資信託販売、不動産仲介等が減収
- ③ 債券関係損益:前年同期の売却損に対し反動増(+148億円)

⇒ 実勢業務純益(銀行合算):前年同期比△17億円(△1.0%)、予想比△18億円(△1.0%)

- ・ 予想比では粗利益減益(△127億円)を経費抑制(△110億円)でカバー

■ 財務基盤の健全性・適切性は堅持... Page6,7

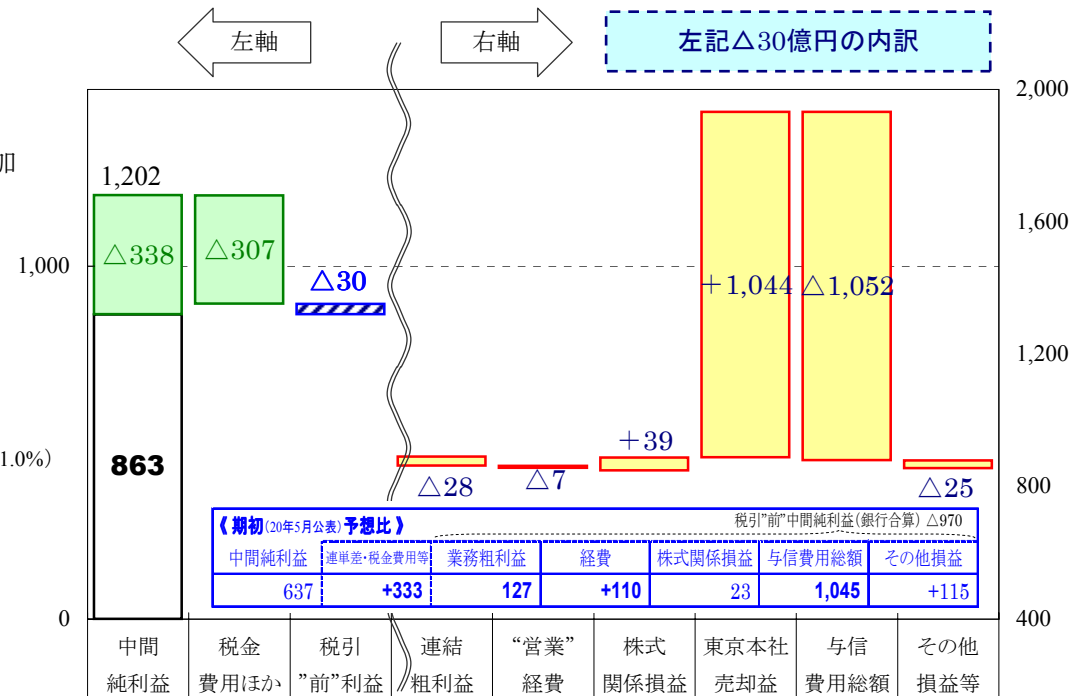
- ・ 与信費用:3業種、大口先向け与信に係る償却・引当が増加
⇒ 早期の対応により、追加費用の発生等、将来リスクを低減
- ・ 20年9月末その他有価証券評価差額(銀行合算):+1,002億円
- ・ 20年9月末HD連結自己資本比率*1:14%台後半を確保する見込

■ 公的資金返済に向けた取組みを継続... Page5

- ・ 公的資金普通株式の一部が返済*2 ⇒ 返済額:144億円
- ・ 自己株式取得実績*3:141,820株、取得価額総額:157億円

*1 20年9月末自己資本比率実績につきましては現在算出中ですが、HD連結自己資本比率は14%台後半、同Tier 1比率は10%台後半を確保する見込みです。詳細は11月18日(火)に改めてお知らせいたします。
*2 第一生命保険相互会社が取得(時価総額:500億円)
*3 平成20年9月8日開催取締役会決議に基づく平成20年9月9日～平成20年11月13日迄の取得実績

○ HD連結・中間純利益の前年同期比増減要因



HD《連結》	中間期実績	
		前年同期比
連結粗利益	3,748	28
税金等調整前中間純利益	1,495	30
中間純利益	863	338

HD〈単体〉	中間期実績	
		前年同期比
営業収益	523	3,392
税引前中間純利益	462	3,387
中間純利益	581	3,308

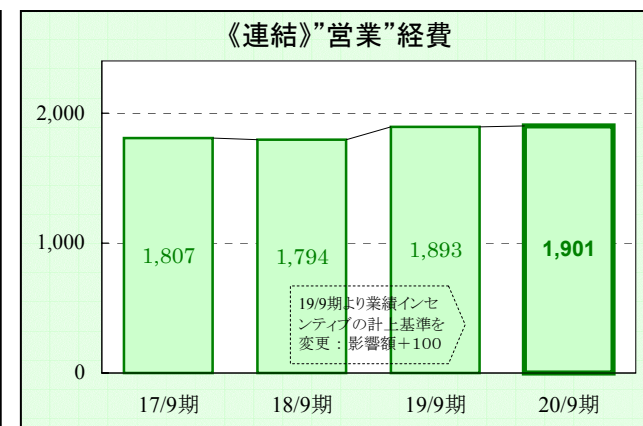
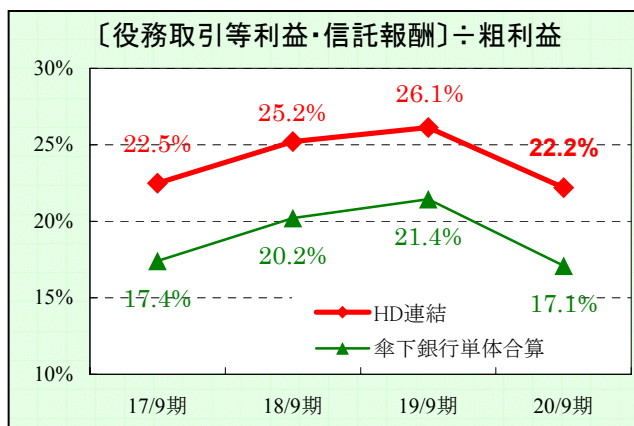
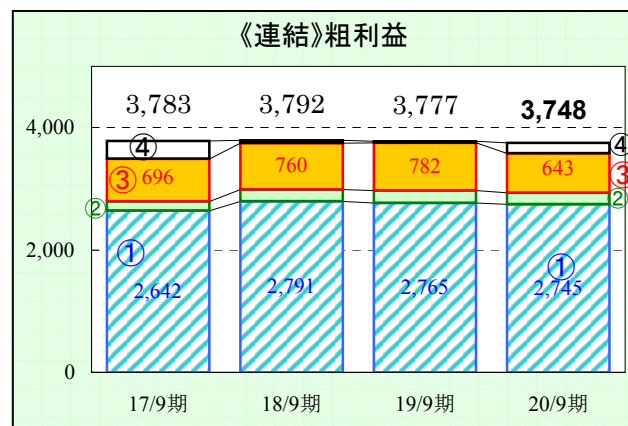
	銀行合算〈単体〉(20年5月公表)			りそな		埼玉りそな		近畿大阪		りそな信託	
	【中間期実績】	前年同期比	予想比	〈単体〉	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比		
実勢業務純益*1	1,632	17	18	1,021	+42	433	12	89	36	87	11
経費率(信託勘定処理考慮)	52.2%	+0.3%		52.8%	1.0%	45.5%	+1.0%	70.6%	+7.3%	40.5%	+4.0%
税引”前”中間純利益	1,405	82	970	1,062	+140	243	154	12	57	87	10

*1 実勢業務純益:信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益

注1):金額については単位未満を切捨て表示
注2):原則、各傘下銀行の単体計数を表示

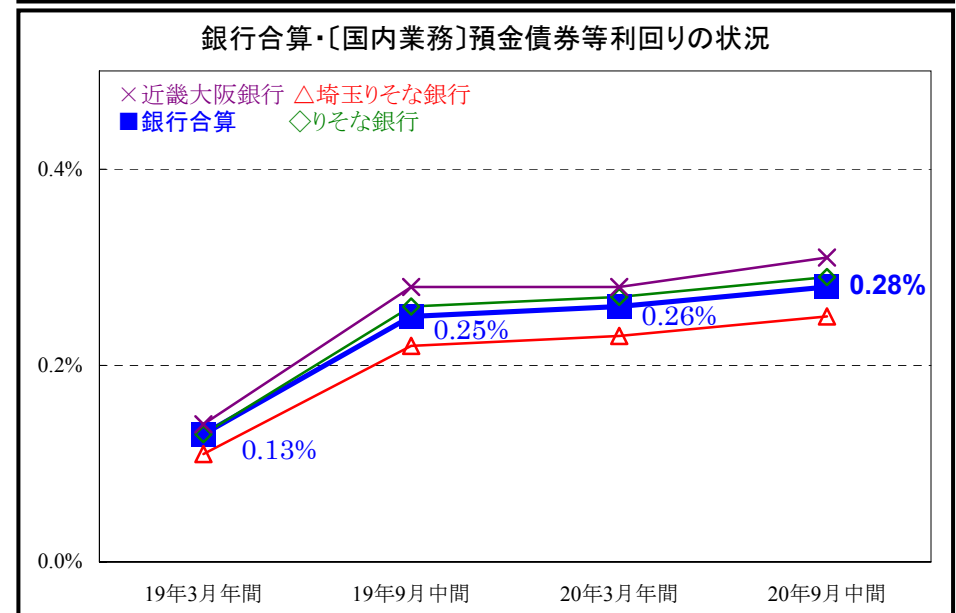
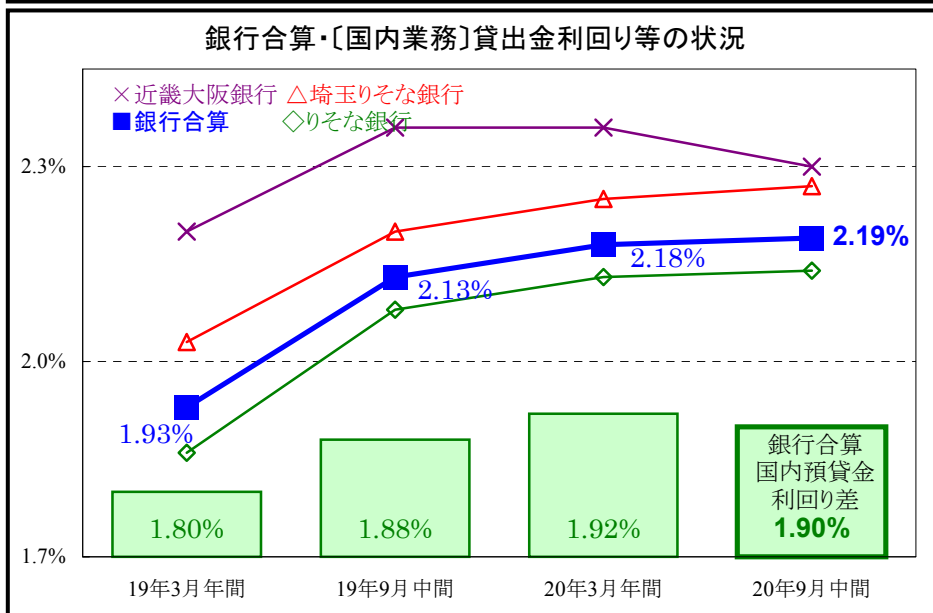
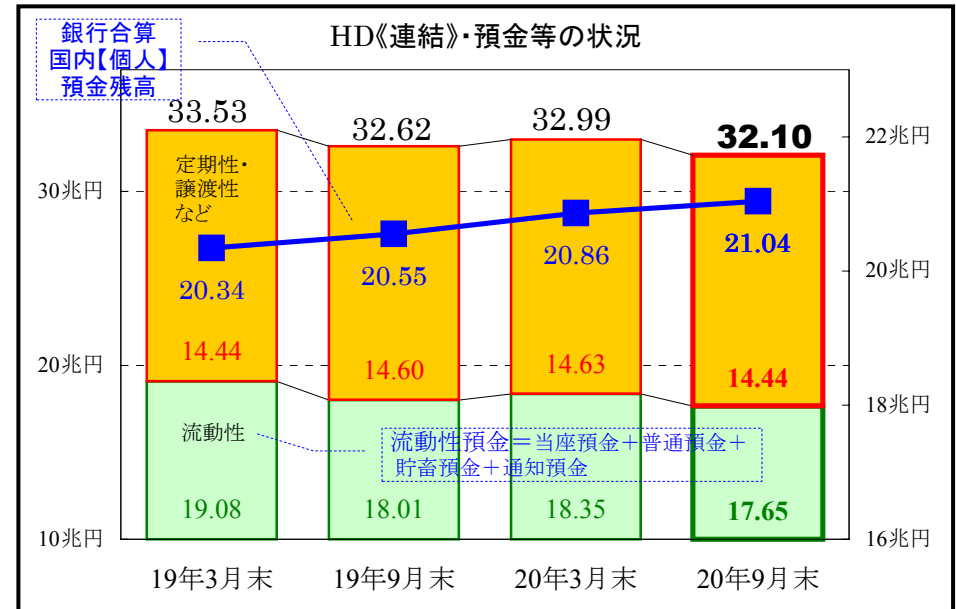
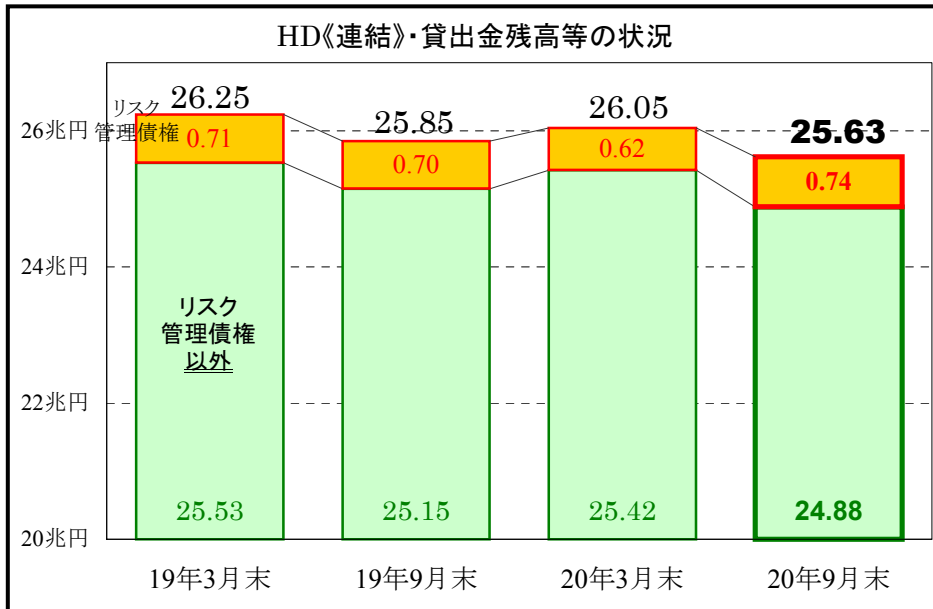
II. 平成20年9月中間期の損益概要等

	HD《連結》		連単差 (A)-(B)	傘下銀行 単体合算		うち				連単差(A)-(B)の 内訳など 〔概数〕
	(A)	前年同期比		(B)	前年同期比	りそな 〈単体〉	埼玉りそな	近畿大阪 〈単体〉	りそな信託	
粗利益〔連結/業務〕	3,748	28	+ 330	3,418	8	2,169	796	304	146	
① 資金利益	2,745	20	+ 81	2,664	4	1,676	707	279	0	カード39他
うち預貸金利益				2,318	28	1,487	582	248	0	預貸金利益:国内部門、銀行勘定、預金に譲渡性預金を含む
② 信託報酬	188	16	0	188	16	34	—	—	153	
③ 役務取引等利益	643	138	+ 245	397	132	280	85	40	7	保証136、カード81、他
④ その他業務粗利益	171	+ 147	+ 3	168	+ 144	179	3	14	—	
うち債券関係損益	9	+ 148	—	9	+ 148	41	13	18	—	
実勢業務純益				1,632	17	1,021	433	89	87	(信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益)
“営業”経費(△)	1,901	+ 7	+ 147	1,753	+ 8	1,101	371	221	59	カード79、保証15、のれん償却36他
株式関係損益	50	+ 39	27	23	+ 78	29	0	7	—	キャピタル△15他
与信費用総額(△)	1,334	+ 1,052	+ 69	1,265	+ 1,126	1,049	182	32	—	保証19、カード37、他
その他損益等	1,032	+ 1,018	+ 4	1,028	+ 983	1,073	1	46	0	
税引“前”中間純利益	1,495	30	+ 90	1,405	82	1,062	243	12	87	
税金費用ほか(△)	631	+ 307	61	693	+ 423	553	98	5	35	少数株主利益16、HD他税金費用△78
税引後中間純利益	863	338	+ 151	711	505	508	144	6	51	



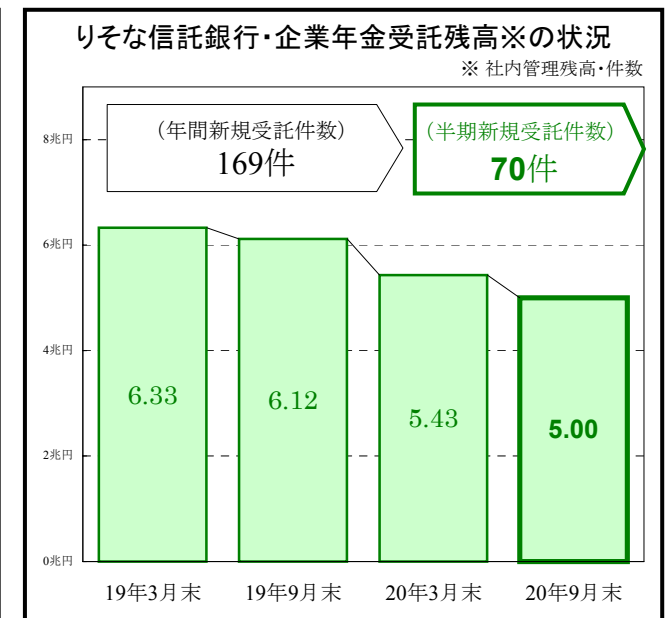
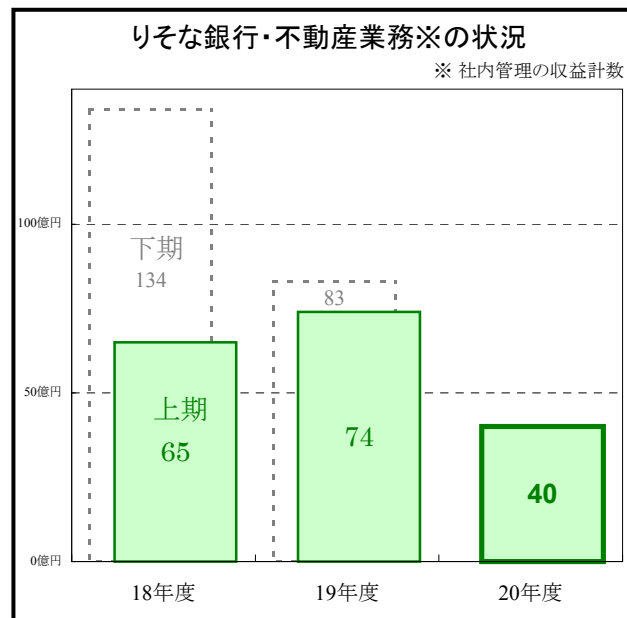
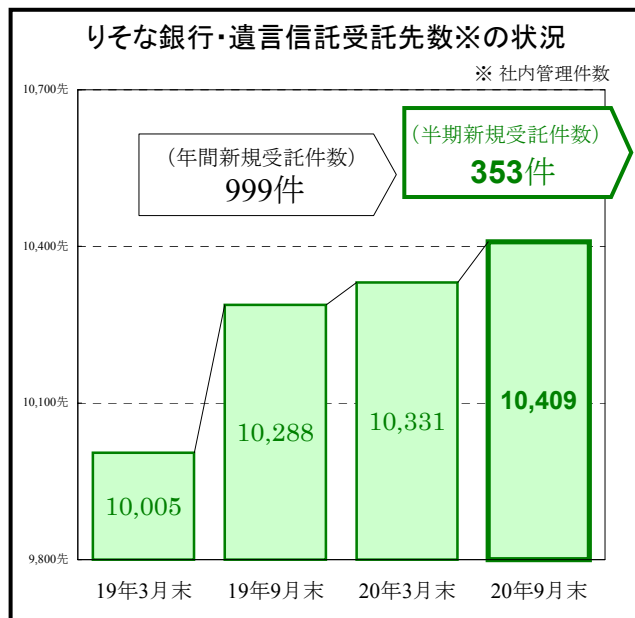
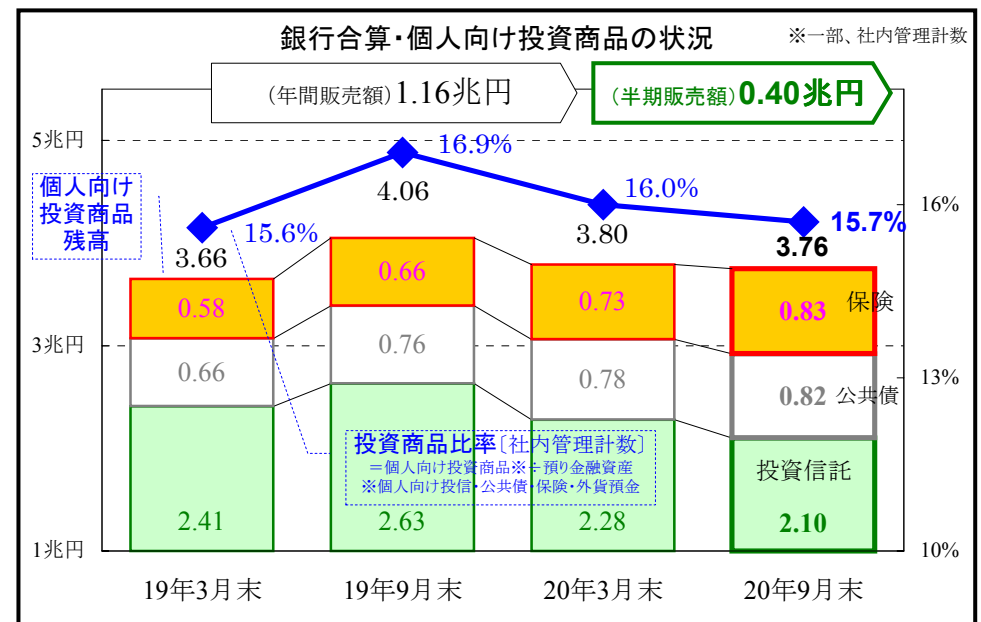
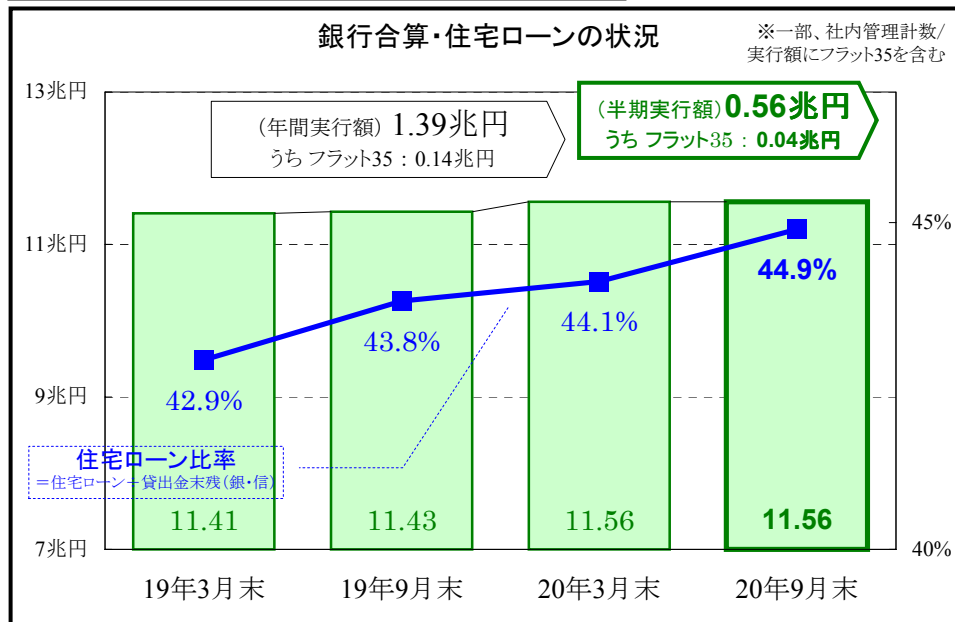
注1:金額については単位未満を切捨て表示
注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅲ. 預貸金の状況



注1: 金額については単位未満を切捨て表示
 注2: 原則、各傘下銀行の単体計数を表示

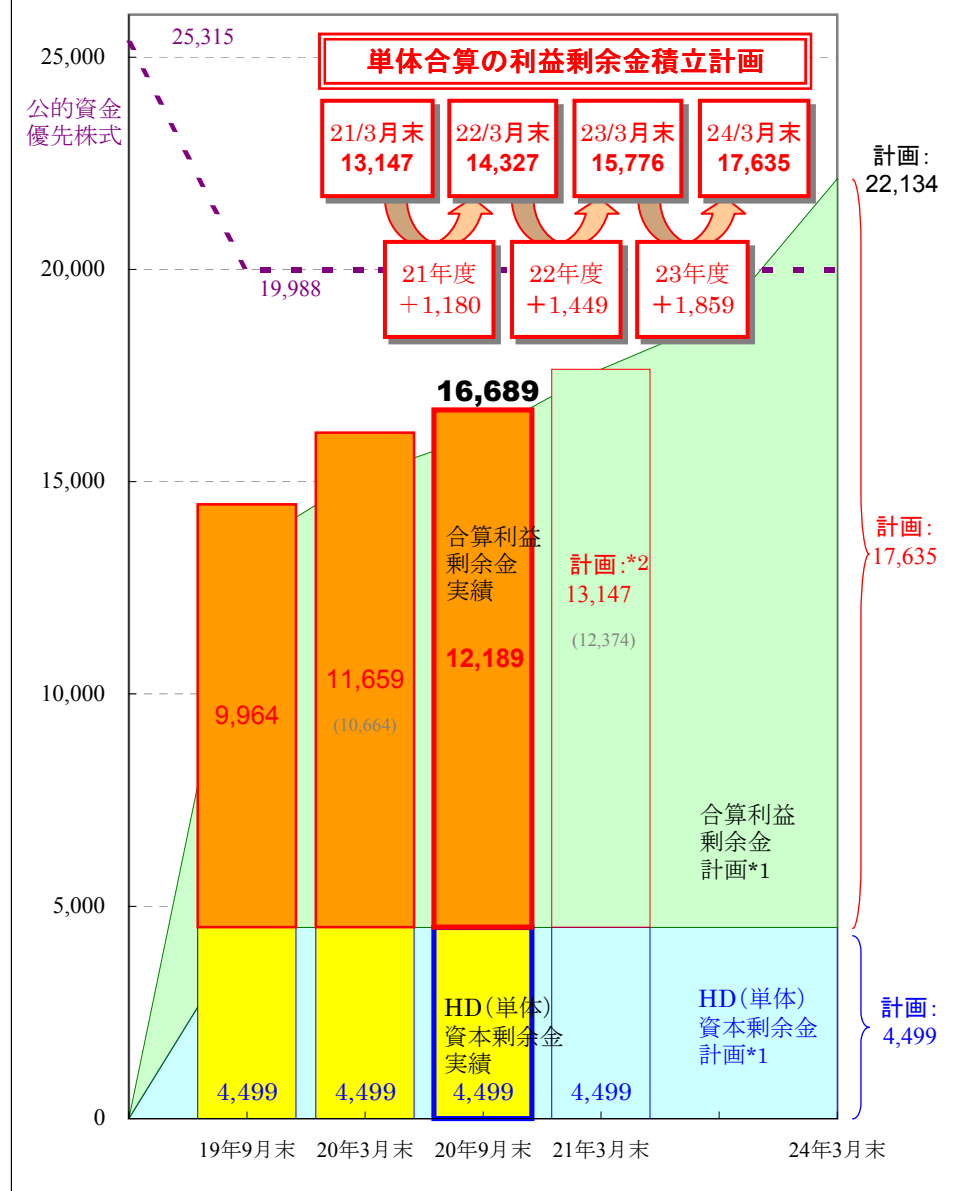
IV. 重点ビジネスの状況



注1:金額については単位未満を切捨て表示
注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

V. 単体合算の利益剰余金等

【参考】今後の公的資金返済原資の積み上がりイメージ



	一斉転換 (初回コール)	15年9月末残高 ①	20年9月末残高 ②	②-①
公的資金合計		31,280	23,231	▲8,048
優先株式		25,315	19,988	▲5,327
早期健全化法		8,680	3,352	▲5,327
乙種	H.21.4	4,080	1,633	▲2,446
丙種	H.27.4	600	600	—
戊種	H.21.12	3,000	119	▲2,880
己種	H.26.12	1,000	1,000	—
預金保険法		16,635	16,635	—
第1種	定めなし	5,500	5,500	—
第2種	定めなし	5,635	5,635	—
第3種	定めなし	5,500	5,500	—
劣後ローン		3,000	450	▲2,550
金融安定化法		2,000	—	▲2,000
早期健全化法	H.21.3	1,000	450	▲550
普通株式	定めなし	2,964	2,792	▲171

*1. 利益準備金、資本準備金を除く

*2. 20年11月公表の健全化計画

括弧内の数値:18年11月公表の健全化計画(19年1月返済、20年4月上方修正、を考慮)

※ 実際の返済額は記載の公的資金優先株式残存額(注入額ベース)と異なる可能性があります

【参考】平成20年9月8日開催取締役会決議に基づく自己株式(普通株式)取得の状況

取得期間	取得株数総数	取得価額総額
〔計画〕平成20年9月9日～平成21年3月31日	660,000株(上限)	1,100億円(上限)
《実績》平成20年9月9日～平成20年11月13日	141,820株	157億円 (15,721,844,400円)

注1:金額については単位未満を切捨て表示

注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

VI. 開示不良債権・与信費用の状況

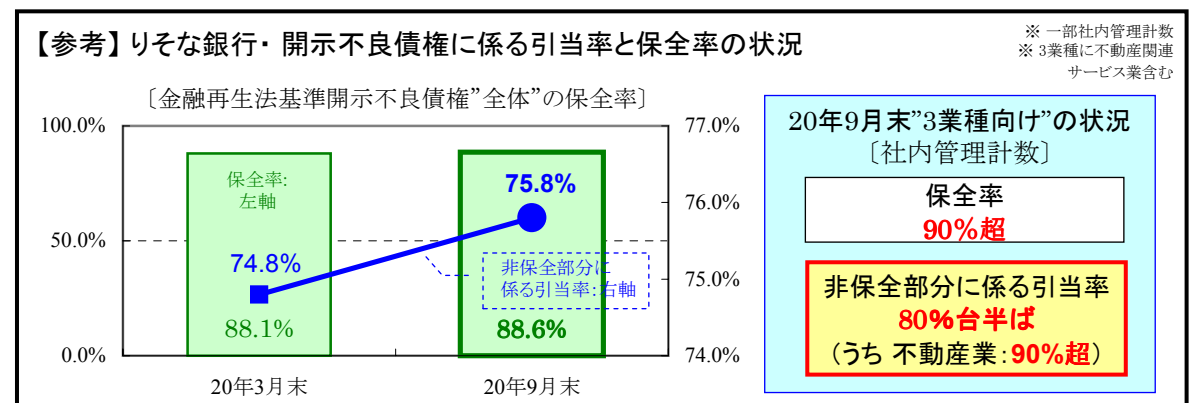
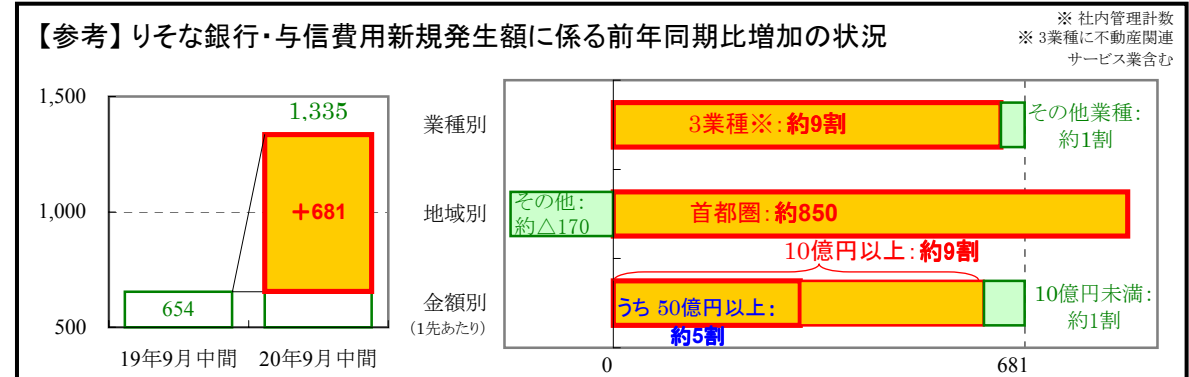
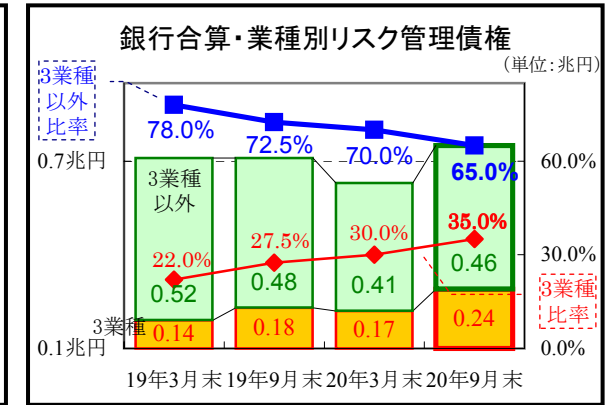
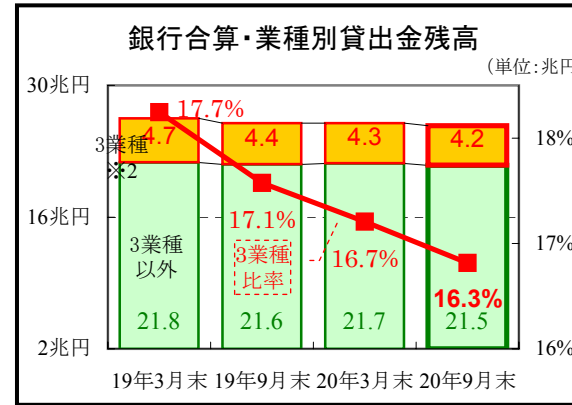
	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
破産更生債権等	970	649	151	169
危険債権	4,111	3,069	652	389
要管理債権	2,115	1,645	254	215
開示不良債権計	7,196	5,364	1,057	774
20年3月末比	+ 1,205	+ 1,038	+ 169	2
不良債権比率※1	2.68%	3.00%	1.69%	2.89%
20年3月末比	+ 0.49%	+ 0.63%	+ 0.27%	+ 0.06%

※1. 開示不良債権計+金融再生法基準開示債権総合計(総与信)【銀行合算】

※2. 3業種:不動産業、建設業、金融・保険業

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
信託勘定処理	1	1	—	—
一般貸引繰入額	64	1	63	0
個別貸引繰入額	577	524	58	4
償却他処理額	755	633	66	55
償却債権取立益	131	107	6	18
与信費用総額(△)	1,265	1,049	182	32
① 新規発生	1,573	1,335	138	100
② 区分改善	113	74	1	37
③ オフバランスなど	259	211	17	30
④ 一般貸引	64	1	63	0

- ① 新規破綻・債務者区分劣化等の損失
- ② 債務者区分の改善に伴う引当金取崩等を合算
- ③ 破綻懸念先以下の債権回収に加えて、オフバランス等に伴う引当金取崩および償却債権取立益等を合算



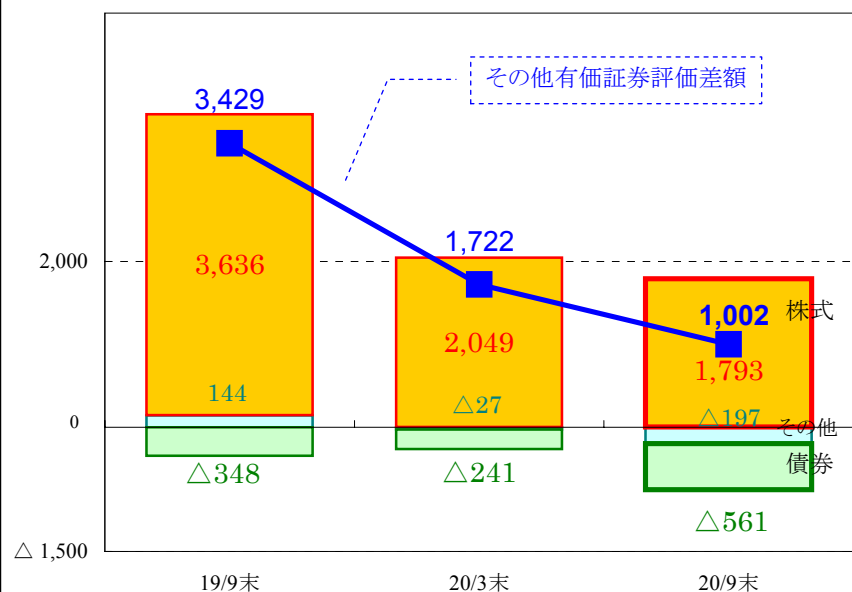
注1: 金額については単位未満を切捨て表示
注2: 原則、各傘下銀行の単体計数を表示

(単位:億円)

VII. 有価証券の評価損益等の状況

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	りそな信託
満期保有目的	31	1	29	—	—
その他有価証券	1,002	744	295	37	0
合計※1	1,034	746	325	37	0
20年3月末比	746	620	70	55	0
債券	561	439	101	20	0
株式	1,793	1,268	493	31	—
その他	197	82	66	48	—

有価証券の評価損益※1の状況(銀行合算)



※1.「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中のコマーシャル・ペーパー、信託受益権を含む。なお、評価差額については、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(企業会計基準実務対応第25号)を踏まえ、時価の算出方法等を今後検討する予定ですが、第2四半期は考慮しておりません。

注1:金額については単位未満を切捨て表示

注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

VIII. 証券化商品の保有状況

	残高	評価損益
海外組成	—	—
サブプライム関連	サブプライムローンに関連する投融資残高はなし ※「決算説明資料」Page13 注記も合わせてご覧ください	
国内組成	2,852	17
裏付資産:国内	2,852	17
住宅ローン	2,356	13
商業用不動産	185	3
その他	311	1
裏付資産:海外	—	—
合計※2	2,852	17
20年3月末比	386	4

※2.「金融商品会計に関する実務指針」(平成19年7月4日改正)において有価証券として取り扱われるもののほか、直接保有する証券化商品。発行体の信用ではなく、特定資産のキャッシュフローを裏付に発行された証券化商品、企業の債務のキャッシュフローを裏付とする債務担保証券、およびこれらを裏付とする再証券化商品を含む。

(単位:億円)

IX. 平成21年3月期 通期の業績予想

	HD《連結》			
	(中間期実績)	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比
連結経常収益	5,145	10,000	500	1,144
連結経常利益	370	1,500	1,200	837
連結当期(中間)純利益	863	1,600	900	1,428

(単位:億円)	HD(単体)			
	(中間期実績)	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比
営業収益	523	1,800	—	4,204
営業利益	481	1,700	—	4,199
経常利益	495	1,700	—	4,202
当期(中間)純利益	581	1,900	—	4,346

期末自己資本比率見込	11月18日(火)にお知らせいたします
------------	---------------------

21年3月期末普通配当予想※	1,000円
21年3月期末優先配当予想※	所定の配当

※配当状況・予想の詳細については「第2四半期決算短信」表紙2. 配当の状況をご覧ください

	銀行合算【概数】			りそな		埼玉りそな		近畿大阪		りそな信託	
	〔通期予想〕	期初予想比	前年実績比	〔通期予想〕	前年実績比	〔通期予想〕	前年実績比	〔通期予想〕	前年実績比	〔通期予想〕	前年実績比
業務粗利益	6,840	370	160	4,300	143	1,590	+10	655	11	295	15
経費(△)	3,690	140	+69	2,330	3	765	+38	470	+29	130	+12
実勢業務純益	3,150	230	228	1,970	138	825	27	185	40	165	26
経常利益	1,460	1,160	665	700	507	560	108	35	25	165	24
税引“前”当期純利益	2,730	1,110	291	1,960	86	560	130	40	54	165	24
税引後当期純利益	1,590	740	1,011	(平成17年度より連結納税制度を採用しております)							

株式関係損益	40	+40	+498	30	+476	—	+3	10	+18	—	—
与信費用総額(△)	1,520	+920	+1,133	1,200	+988	230	+111	90	+35	—	—

期末自己資本比率見込	11月18日(火)にお知らせいたします
------------	---------------------

本資料中の将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。即ち、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因等が考えられます。本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。併せて、第2四半期決算短信【定性的情報・財務諸表等】1～3 連結経営成績・連結財政状態・連結業績予想に関する定性的情報、有価証券報告書、ディスクロージャー誌など各公表済の最新資料をご参照下さい。

注1:金額については単位未満を切捨て表示
注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示